

平成 20 年度東京湾水質一斉調査の関連として実施した環境教育、環境活動等の取組み

機関名	実施日	環境活動内容等
埼玉県	7月31日(木)	○みどりと川の再生埼玉フォーラムイン寄居 会場：埼玉県立川の博物館イベント広場・寄居町かわせみ河原
	7月31日(木)	○水の生き物調査隊 対象：小学生(3～6年生)の親子(約180名)
千葉県	7月19日(土)	○水質の簡易分析実習
	7月26日(土)	○都川の水環境の視察
	8月23日(土)	○親子リサイクル工作教室
東京都	7月19日(土)	「お台場海浜公園におけるカキの水質浄化実験」イベント
	8月22日(金)	
川崎市	7月2日(水)	①入江崎総合スラッジセンター「下水処理についての説明・見学」
		②港湾局巡視艇あおぞら乗船「東京湾の水質についての説明・見学」 対象：渡田小学校4年生児童61名
千葉市	7月25日(金)	○「千葉市下水道教室」
	～27日(日)	
さいたま市	7月2日(水)	○さいたま市環境研修会
	7月28日(月)	○親子で楽しむサイエンスラボ
	～8月1日(金)	対象：小学生(5～6年生)の親子
神奈川県 横浜市	7月2日(水)	①講義「東京湾水質改善について」
		②港湾局広報艇はまどりに乗船「港内見学」 対象：元街小学校5年生児童約90名

みどりと川の再生 埼玉フォーラム イン寄居

日時 2008
7/31 木
10:00~15:00

場所 埼玉県立川の博物館
イベント広場
寄居町かわせみ河原

 寄居駅から無料送迎バスを運行します

入場無料!
小雨決行!



みどりと川の再生埼玉フォーラム

テーマ

みどりと川の再生スタート!
いま、私たちができること

メンバー(敬称略)

奥本 大 三 郎 (埼玉大学教授・ファーブル昆虫記翻訳者)
菅 和 利 (芝浦工業大学教授)
進 士 五 十 八 (東京農業大学教授)
須藤 隆 一 (埼玉県環境科学国際センター総長)
野田 知 佑 (カヌーイスト)
吉本 多 香 美 (女優)
上田 清 司 (埼玉県知事)

みどりと川の魅力 実感イベント

- ①川端懇談会
「大人のための“川ガキ”講座」 講師:野田 知佑 氏
- ②水の生き物調査隊
- ③みどりと川の魅力写真展
- ④埼玉B級グルメコーナー
- ⑤地元農産物直売・
ふるさと食品販売等
- ⑥みどりと川の再生関係団体交流会



見て!
触れて!
楽しんで!

[主 催]埼玉県

[お問い合わせ]埼玉県環境部みどり再生推進室

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL:048-830-3147 FAX:048-830-4775

みどりと川の再生 埼玉フォーラム イン寄居

埼玉県では、都市と田園の魅力を合わせ持つ「住みやすく環境にやさしいゆとりの田園都市 埼玉」の実現を目指して、「みどりと川の再生」に集中的・重点的に取り組んでいます。

そこで、知事と有識者等が懇談する「みどりと川の再生埼玉フォーラム」を充足させ、みどりと川の再生に向けて、人とみどりと川の「関わり」、「つながり」、「広がり」を多彩な分野の方々と議論します。このフォーラムは、みどりと水の景勝地で、継続的に開催し、県民の皆さんをはじめ全国に広く情報発信します。

「みどりと川の再生 埼玉フォーラム」プロフィール

埼玉大学教授
奥本 大三郎 氏




専門はフランス文学、博物学。ファール昆虫記の翻訳者で日本昆虫協会会長を務める。

芝浦工業大学教授
菅 和利 氏




専門は環境水工学、水資源工学。NPO法人日本水フォーラム代表副理事、川の国埼玉川の再生懇談会座長を務める。

東京農業大学教授
進士 五十八 氏




専門は造園学、環境計画、景観政策。日本造園学会長、日本都市計画学会会長などを歴任し、さいたま緑のトラスト協合理事長を務める。

埼玉県環境科学国際センター総長
須藤 隆一 氏



専門は環境生態工学・水環境学で現在、環境省中央環境審議会水環境部会長、地球環境部会長を務める。

カヌーイスト
野田 知佑 氏



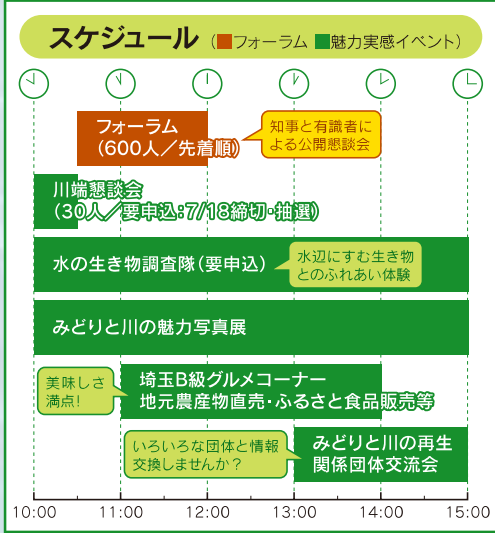
「日本の川を旅する」で日本ノンフィクション賞新人賞を受賞。川遊びカヌーを提唱したツーリングカヌーの先駆者。

女優
吉本 多香美 氏



女優としてテレビ、映画、舞台などで活躍中。メディカルハープセラピストでもある。埼玉県出身。

埼玉県知事
上田 清司 氏

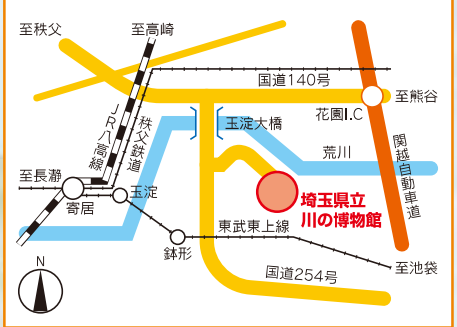
※要申込のイベントは県みどり再生推進室(☎048-830-3147)までお問い合わせください。

埼玉B級グルメ出店一覧

- ころのすコロッケ【鴻巣市】
- すったて(冷汁うどん)【川島町】
- ゼリーフライ(おからコロッケ)【行田市】
- 雪くま(創作かき氷)【熊谷市】
- 太麺焼きそば【川越市】
- やきとり【東松山市】



会場案内図



埼玉県立川の博物館 寄居町小園39

- 東武東上線鉢形駅下車徒歩20分
- 関越自動車道花園ICより8分

※駐車場が少ないため会場へお越しの際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。
なお、寄居駅から無料送迎バスを運行します。

平成20年度第4回 千葉県環境研究センター

公開講座



開催日：平成20年7月26日(土) 13:30~17:00(予定)

集合解散：千葉県環境研究センター水質地質部

(千葉市美浜区稲毛海岸3-5-1)

バスを利用した都川視察

バスを利用して、都川の水環境について視察します。なお、視察中に水質簡易分析を行う予定ですので、7月19日の水質簡易分析の講座を併せて受講されることをお勧めします。

会場案内図 水質地質部(043-243-2935)

募集人数 45名(申込先着順、参加費無料)
申込方法 電話、FAX・メールでお申し込み下さい。
申込・問い合わせ先
千葉県環境研究センター総務企画情報課
(市原市岩崎西1-8-8)
【ホームページ】 <http://www.wit.pref.chiba.lg.jp/>
電話 0436-24-5309
FAX 0436-23-3598 エルジー
Email kankyoken@ma.pref.chiba.lg.jp

(電子メールについては、送信途中において悪意のある第三者による盗聴等の可能性も指摘されていますのでご注意ください。)
ご来場の節は、公共交通機関をご利用下さい。



集合解散場所への案内

京葉線稲毛海岸駅から

京葉線稲毛海岸駅から徒歩8分です。(駅を出て、大通りを北東方向に歩いてください。)

バスの場合は、稲毛海岸5番のりば「こじま公園経由」稲毛駅行き、稲岸公園下車、徒歩2分

総武線稲毛駅から

稲毛駅からは徒歩25分。(西口から、バス通りの方ではなく、交番前の道を、交番が左手に見えるように進んで下さい。)

バスの場合、西口1番のりば稲毛海岸駅行き(歯科大経由、こじま公園経由 どちらでも可) 稲岸公園下車、徒歩2分

公開講座

開催日：平成20年7月19日(土) 13:30~16:30

会場：千葉県環境研究センター水質地質部
(千葉市美浜区稲毛海岸3-5-1)



水質簡易分析学習

市民の手で行える水質調査の基本操作と
結果の読み方について実習を行います

(7月26日の「バスによる都川視察」と併せて受講されることをお勧めします。)

講師：環境研究センター 水質環境研究室

会場案内図 水質地質部(043-243-2935)

募集人数 45名(申込先着順、参加費無料)
申込方法 電話、FAX・メールでお申し込み下さい。
申込・問い合わせ先
千葉県環境研究センター総務企画情報課
(市原市岩崎西1-8-8)
【ホームページ】 <http://www.wit.pref.chiba.lg.jp/>
電話 0436-24-5309
FAX 0436-23-3598 エルジー
Email kankyoken@ma.pref.chiba.lg.jp

(電子メールについては、送信途中において悪意のある第三者による盗聴等の可能性も指摘されていますのでご注意ください。)
ご来場の節は、公共交通機関をご利用下さい。



会場への案内

京葉線稲毛海岸駅から

京葉線稲毛海岸駅から徒歩8分です。(駅を出て、大通りを北東方向に歩いてください。)

バスの場合は、稲毛海岸5番のりば「こじま公園経由」稲毛駅行き、稲岸公園下車、徒歩2分

総武線稲毛駅から

稲毛駅からは徒歩25分。(西口から、バス通りの方ではなく、交番前の道を、交番が左手に見えるように進んで下さい。)

バスの場合、西口1番のりば稲毛海岸駅行き(歯科大経由、こじま公園経由 どちらでも可) 稲岸公園下車、徒歩2分

平成20年度第5回 千葉県環境研究センター公開講座

親子リサイクル工作教室

なにげなく捨てていたごみが、ちょっとした工夫で、作品に生まれ変わります。どんなおもしろいものができるのか、あなたもリサイクル工作教室に参加してみませんか。(参加費は無料ですが、牛乳紙パック、トイレトペーパーの芯、ペットボトル(炭酸飲料用500ml)を持参できる方は持参してください。)

工作の内容



ペットボトルロケット、万華鏡など、いろいろなおもちゃ作りにチャレンジします。



- ・開催日時 平成20年8月23日(土)
午後1時30分～午後4時30分(予定)
- ・会場 千葉県環境研究センター
市原市岩崎西1-8-8(市原臨海公園の隣)
- ・参加条件 小学生とその保護者(5,6年生は児童のみでも可)
- ・募集人員 100名(先着順)
- ・申込み方法 電話、Fax、メールでお申込みください。
電話 0436-24-5309、Fax 0436-23-3598

Email kankyoken@ma.pref.chiba.lg.jp

(電子メールについては、悪意のある第三者による盗聴等の可能性も指摘されていますのでご注意ください。)

エルジー

交通 内房線五井駅より徒歩30分

- ・バス 五井駅西口3番乗場:姉崎西口行き
吹上通り角下車 進行方向に徒歩約10分
バスの本数が少ないのでご注意下さい。

公開講座今後の予定 **要申込!**
～バスを利用した地質環境見学～
養老溪谷から九十九里地域を回ります
8/30(土) 10:00～17:00(予定)
15分ほど徒歩がありますので
ご注意下さい。



当日の催し物スケジュール



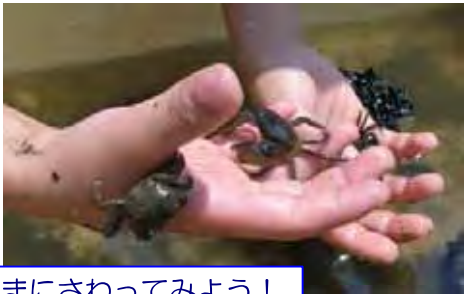
時間	カキの実験施設を みてみよう	東京湾の生き物を みて、さわってみよう	東京湾岸自治体環境保全会議 による催し物
	◆実験施設見学	◆生き物水槽・タッチフェール	◆水質調査体験 ほか 展示
10:00	↓ 10:30	お台場と葛西※の生き物を水槽で観察しよう！ タッチフェールでさわってみよう！ 参加随時 ※協力 葛西臨海水族園	水質を調べてみよう！ フラクトンを見てみよう！ 缶バッチを作ってみよう！ 参加随時
11:00	↓ 11:30		
12:00	↓ 12:30		
13:00	↓ 13:30		
14:00	↓ 14:30		
15:00	終 了		



みて！僕たち大きくなったでしょ！



海のなかまにさわってみよう！



ぼくたちの力は凄いよ！
みにきてね！！

主催者：東京都港湾局
 協 力：葛西臨海水族園
 イベント共催：東京湾岸自治体環境保全会議



川崎市

神奈川新聞

水浄化 仕組みに驚き 環境教育で処理施設見学

渡田小
5年生



下水処理施設を見学する子供たち
川崎区塩浜3丁目

国と八都府市が東京湾の水質調査を初めて合同実施した二日、川崎市立渡田小学校の五年生約六十人が市内の下水道処理関連施設を見学したり、湾内で巡視艇に乗船したりして、水循環

に対する理解を深めた。調査の関連イベントとして同市が行う環境教育の一環。市内四方所の下水道処理施設で発生した汚泥を最終処理する「入江崎総合スラッシュセンター」（川崎区塩

浜三丁目）では、職員が市内の下水道処理の仕組みを説明。処理前と処理後の水を見比べるなどした。

子供たちは「総合的な学習の時間」に環境を学んでいるといい、特に下水の浄化に微生物を利用する点に関心を集めていた。「生物と人間の力が合わさって、初めて水がきれいになることに驚いた」と小黒詠史君（10）。他の児童も「夜間も下水道のために働く人がいてすごいと思った」「ごみや油を流さないよう気をつけたいな」と話していた。

（鈴木 美帆子）

下水道教室

平成20年度下水道教室(終了)

日時:平成20年7月25日(金)から7月27日(日)まで

午前10時から (午前9時30分から受付)

午後2時から (午後1時30分から受付)

いずれも2時間程度(事前申込不要)

場所: 南部浄化センター(中央区村田町893番地)

JR浜野駅下車徒歩15分

対象: 小学生と保護者(小学生のみも可)

電話: 043-265-1357

「下水道がよくわかる」と題して、上記日程で「下水道教室」を開催したところ、3日間で236人の皆様にご参加いただきました。

以下に今年度実施の様子を紹介します。



高度処理施設見学



活性汚泥の中で水を浄化する微生物を顕微鏡で観察



水の汚れ(COD)を測るパケットの模様



高度処理水を利用したビオトープ

平成20年度下水道教室は以下のような内容で行いました。

- ▶ 浄化施設の概要説明及び高度処理施設の見学
- ▶ 顕微鏡による汚泥に含まれる微生物の観察
- ▶ CODパケットによる水の汚れ測定実験
- ▶ 小学生向けビデオ上映
- ▶ 下水道に関するクイズ

さいたま市

さいたま市環境研修会

- 1 日時 平成20年7月2日(水) 午後2時～午後4時30分
- 2 場所 大宮ソニックシティ4階



・市内の工場・事業場の担当者を対象として、研修会を行いました。

親子で楽しむサイエンスラボ

- 1 日時 平成20年7月28日(月)～8月1日(金)
- 2 場所 さいたま市健康科学研究センター



・小学生とその保護者を対象として、使い終わったてんぷら油と牛乳パックで環境にやさしいエコ石鹼を作る「リサイクル石鹼づくり隊」や水の性質について学ぶ「水の不思議を学び隊」などを開催しました。

神奈川県・横浜市



7月2日

横浜港に近い波止場会館で横浜市環境科学研究所職員により、東京湾水質改善について講義を行い、「生き物が豊かな海にするにはどうしたらよいのだろうか」と問いかけた。
対象：横浜市元街小学校5年生
約90名



カキとアマモの水槽により水質浄化の様子を観察



横浜市港湾局広報艇はまどりに乗船して港内見学後、埠頭で海水の採取



ピーカーにあけて学校に持って帰り、パック試験、顕微鏡による観察を行った。